

平成31年 1月26日

## 「南区コミュニティ・コーディネーター育成講座」の視察について

氏名 山田 久美子

- 1 訪問日 ①平成30年11月21日(水) 15:50~17:20  
②平成31年1月23日(水) 16:10~17:00
- 2 会場 ①新潟県立白根高等学校 ②白根学習館
- 3 対象 白根高校1~2年生11人
- 4 運営団体 主催:白根地区公民館
- 5 活動の概要

【事業の目的】 地域課題の解決に取り組むために人や組織、機関等のつなぎ役となるコミュニティ・コーディネーターを育成する。

【学習のねらい】 地域課題解決に向けた取り組みを経験することで、未来の自分が地域にどのようにかかわり、何ができるかを考えるきっかけ作りとする。

【講座の内容】 11月1日から放課後の時間帯を使い、6回の予定でスタート。チーム作り、フィールドワーク、グループワーク、発表会、アイデア実践など。自主活動も含め10回以上活動(そのうちグループワークと発表会を視察)。南区大通地区を対象地域とし、コミュニティ協議会や高齢者支援組織などの協力を得て、地域課題を探る。大通地区は35年前に開発された大規模団地で、地域全体に高齢化が進み、高齢者世帯が増加。シルバー世代が自ら困りごとを発信できるよう、地域住民同士のコミュニケーションを深めるためのアイデアを考えた。その中から「高校生が教えるネット教室」を採用、手軽なコミュニケーションツールとして使われているLINEを中心とした「楽しくらくらく スマホであそぼ」を2月に開催することとした。発表会では、寸劇でLINEによる家族のコミュニケーションを紹介した。

### 6 活動にみえる「次世代育成」

- ・若者を対象とした事業は参加者が集まりにくいと考えられていたが、講座の受講対象者を白根高校の生徒に絞ったことにより、受講生が集まった。
- ・昨年度の事業に参加した生徒が、リーダー的な役割を担っていた。
- ・「未来へのきっかけ作り」として「未来の自分」を対象とした取り組みにしたことにより、課題解決に取り組む主体性が増したと思われる。

### 7 今後に向けて

- ・公民館と高校の連携を今後も継続してほしい。
- ・実践可能なアイデアが出され、講座の実施につながったことにより、新たな課題を次のステップにつなげてほしい。
- ・高校生の考えるコミュニケーションが、「LINEを使うこと」で完結していたようだが、コミュニケーションのあり方について、更に学習を進めてほしいと感じた。

以上